

お香と お香立て、どちらにも使える 夢の(?) 注意書。

但し、対応は竹芯香・円錐香・線香、もしくは それら用の お香立てのみ。

' 20 12 月

⚠ 注意 必ず読んでください!

《お香・お香立て 注意書》

☆お香に火をつけたら炎を消して、専用受け皿にセット。そうしないと、お香全体が激しく燃え続けて大変危険です。(→)

- お香は芳香用途以外に使わない。
- お香立ては指定のお香だけを焚く。
- 危険だから一度に複数を使わない。
- 竹芯香用受け皿は、竹芯香のお香部分を受け皿にふれさせない。(→)
- コーンお香用受け皿は、専用のミニお香立てと合わせて使う。
- お香に火をつける際やお香を焚いている間、まれにお香の先端部分が落下・飛散、熱をもった灰が受け皿の外にこぼれる恐れあり。受け皿を大きめの不燃性トレーにのせて使うのがオススメ。
- お香を焚いている間、そばをはなれない。はなれる時などは、必ず火を消すこと。
- 使用中や直後は熱いからさわらない。
- 煙が消えてもお香の中に火種が残っている可能性あり。燃えながら灰を捨てる前に、火が完全に消えて熱がないか確認を。
- 再使用はこもった熱を冷ましてから。
- 以下のような場所で使用・保管しない。

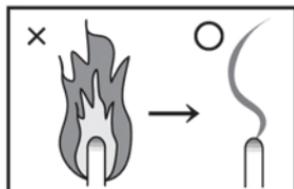
- ①お子さまやペットなどが近づく
- ②カーテン・布団など(火が付きやすい, 燃えやすい, ヤニ・匂いが付きやすい.)

- ③高所・不安定・風がある(転倒, 落下.)
- ④高温・乾燥・多湿・寒暖差大(香料が早く揮発, カビ, 変質.)
- ⑤紙・布・木材 製品・漆器・樹脂など(熱や香料で変色等.)

- とがってる ところ など、ヒトやモノに ぶつけない。
- 引きずったりしない。(テーブルや床などがキズつく)
- 食べ物ではないので、口に入れたりしない。
- お香の煙を大量に吸うと健康を損なう恐れ。換気は十分に。
- お香の香りやお香立ての品質・サイズ等は、製造時の気候や製造ロットごとに異なります。

お香原産国：インド・ネパール

お香原材料：竹・木粉等・天然香料・合成香料・着色料・他



輸入
販売元



(有)へもじくらふと
TEL 047(469) 1116

お香
お香立て